

2025 ～ 2026 年度国際ロータリーのテーマ

U N I T E F O R G O O D

●会長 堤 勝也
●幹事 草村安宏

 No.1907

※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org


よいことの
ために
手を取りあおう

■熊本東南ロータリークラブ 2025 ～ 26 年度年度

◆司会 副 SAA 松元 将深

■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■熊本東南RCソング 「Joyful and Good」

(ソングリーダー 彌富照皇)



■会長の時間

(会長 堤勝也)

改めまして、こんばんは。

今期、会長を務めさせていただいております、堤です。どうぞよろしくお願いいたします。



こうして例会でお話しする機会が、実は今

期もう3回目になります。毎回ちょっと緊張しますし、正直なところ大変だなと思うこともあるんですが、皆さんの温かい雰囲気に助けられながらなんとかやっております。

さて本日は、新年度家族例会ということで、平日のお忙しい中にもかかわらず、たくさんの方にご出席いただき、本当にありがとうございます。

そして、日頃より私たちロータリーの活動を温かく見守ってくださっているご家族・パートナーの皆さまにも、心より感謝申し上げます。

本年度は台湾での姉妹クラブ「調印式」もありますし、本日はアトラクションも準備しております。せっかくの機会ですので、皆さまに楽しんでいただけたらと思っています。

どうぞリラックスして、笑顔あふれる時間をお過ごしください。

今期も一年、どうぞよろしくお願いいたします。

■幹事報告

(幹事 草村 安宏)



■来信案内

1)

熊本西稜RCより、

第1回熊本市域RC会長・幹事会の案内。

日時 2025年8月25日(月) 15:00～16:00

場所 ホテル日航熊本 5F「天草」

2)

藤田千克由ガバナー、三村彰吾ガバナー指名委員会委員長より、ガバナーノミニー・デジグネート候補者推薦について(芳崎一郎ガバナーノミニーの次の方)。

各クラブ検討の上、是非ガバナーノミニー・デジグネート候補者を推薦。

提出期限 2025年9月19日(金) 必着

提出先 地区事務所内 ガバナー指名委員会宛

3)

藤田千克由ガバナー、財津公明 地区幹事、川上哲也 広報担当副幹事より、ガバナー月信「お宝発掘シリーズ」推薦のお願い。

※詳細は、皆様にメール/FAXでお送りさせていただきました。

■クラブより

1)

次週7月23日例会は休会です(祝日が含まれる週)。

■今後の地区行事

開催日	行事名	場所	会場	出席者
2025年 7月19日(土) 7月20日(日)	2025 学年度 米山夏季セミナー	大分県 日田市	羽田多目的交流館	生駒ちあき 宮川義行 魏芸婷
7月26日(土)	2025-2026 年度 規定審議会報告会・クラブ 活性化ワークショップ	大分県 大分市	ホルトホール大分	草村安宏 内田信行 彌富照皇 中島祐爾
8月23日(土)	第1回ファシリテーター 研修セミナー	熊本県 熊本市	未定	彌富照皇
9月20日(土)	大分 Oli Oli ロータリークラブ 認証状伝達式並びに祝賀会	大分県 大分市	レンブラントホテル	彌富照皇

■出席報告

(出席・プログラム担当副委員長 内田 信行)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
----	-----	------	----	--------	--------

7月02日	37 (免2) 35	30	3	33	89.19
7月16日	37 (免2) 35	29	-	-	82.86

☆出席免除

7月2日・16日

島村徹男 志賀重人

★欠席者

7月2日

出先教明 山本浩之

■スマイル

(親睦・スマイル担当委員長

片岡 貞志)



◎「全員スマイルありがとうございました。」

■点鐘

■新年度家族会

◆司会 親睦・スマイル委員長 片岡 貞志

■開宴の挨拶 親睦・スマイル担当委員長

(親睦・スマイル担当 片岡貞志委員長)



■直前会長、直前幹事へ記念バッジと花束贈呈

直前 SAA、直前ガバナー補佐・補佐幹事へ花束贈呈

(プレゼンター：会長 堤勝也)

◎前田目出夫 直前会長



◎福井 学 直前幹事



◎杉本 整哉 直前 SAA



◎山田 公也 直前ガバナー補佐



◎中島 祐嗣 直前ガバナー補佐幹事



■アトラクション・二天一流 五方の形

(二天一流(鶴田派) 第17代 宗家 松永 和典 様)

(二天一流(鶴田派) 第18代 宗家 松永 哲典 様)



■アトラクション演者さまへのお礼

(会長 堤勝也)

本日は、家族例会という特別なひとときに、お忙しい中二天一流のご演舞を披露いただき、誠にありがとうございました。会員・家族の皆さまとともに、宮本武蔵ゆかりの見事な技と精神に触れることができ、大変貴重な時間となりました。今後のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

ありがとうございました。



■乾杯

(副会長 彌富 照皇)



■歓談



■国際大会（台北）の告知

(国際奉仕担当委員長 小畑成司)



■日帰り親睦家族旅行（宇佐）の告知

(親睦・スマイル担当委員長 片岡貞志)



■優秀スマイル賞表彰・記念品の贈呈

(プレゼンター：会長 堤勝也)

- ◎ 2024-2025 年度 優秀スマイル賞 宮川義行 会員
- ◎ 2024-2025 年度 優秀スマイル賞 沼田敏雄 会員
- ◎ 2024-2025 年度 優秀スマイル賞 内田信行 会員
- ◎ 2024-2025 年度 優秀スマイル賞 松本 繁 会員
- ◎ 2024-2025 年度 優秀スマイル賞 杉本 整哉 会員



■米山奨学生紹介

(米山奨学生 魏芸婷（キゲイティ）さん)



■熊本東南ローターアクトクラブ紹介

(熊本東南ローターアクトクラブ会長 宮田 真二)



■閉会の辞

(会長エレクト 福井 学)



◆集合写真撮影



◆2次会

(@ドミナント)



★自分にできることから始める国際奉仕

寄稿者：古川公士（東京銀座ローターアクトクラブ会員）

○私が所属する東京銀座ローターアクトクラブでは、約15年にわたりネパールの小学校への支援を続けています。ネパールはアジアの中でも貧困問題が深刻で、GDPの約25%が海外で働く出稼ぎ労働者からの送金で成り立っています。日本で働くネパール人も多く、外国人労働者数では常に上位に入っています。

活動のきっかけは2008～09年度、当時のクラブでは社会奉仕は行っていたものの、国際奉仕の取り組みがほとんどなく、何か始めたいと考えていたとき、支援先として紹介されたのがネパールでした。その方からいただいた言葉が今でも印象に残っています——「子どもたちにとって、夢を与えてください」。まずは現地を訪れ、子どもたちの姿を見てから考えようということになり、メンバーたちが初めてネパールへ向かいました。



以降、私たちは毎年ネパールを訪れ、文房具の寄贈やトイレの修繕、衛生習慣の啓発活動など、地道な支援を続けてきました。2015年の大地震の際には復興支援のため、ネパール産のカレー粉を販売して募金を集める活動も行いました。

○私自身が初めて現地を訪問したのは2023年2月。コロナ禍で数年間中断していた渡航が再開し、私の中で「今しかない」という気持ちが高まりました。現地ではたくさんの子どもたちが笑顔で迎えてくれ、歌や踊りを披露してくれました。小学校の教室を案内してくれるその姿に、「私たちにできることは、まだまだある」と実感しました。

○帰国後、さらなる支援を模索しましたが、文化や価値観の違い、現地の事情、日本にいるネパール人との連携の難しさなど、思うように前に進まない壁にも直面しました。再訪を予定していた翌年も、安全面や衛生面の懸念から、クラブ内での合意が得られず、一時的に活動を断念することもありました。

そんな中、私たちの活動を支えてくださっていた方から「文化も宗教もまったく違うからこそ、“わかり合えない”を前提に始めるべきなんです」と助言をいただきました。その言葉にハッとさせられ、自分たちの“良かれ”が押し付けになっていないか、支援のあり方を一歩引いて見直すきっかけにもなりました。

○私はいま、「あのとき会った子どもたちが無事に卒業し、自立し、いずれ日本に来て働けるような未来を応援する」というシンプルな目標を持って活動しています。今年ネパールを再訪した際、2年前に出会った生徒が成長した姿で再会し、英語で手紙をくれました。「お医者さんになってネパールの人々の命を救いたい、そして日本や韓国にも行ってみたい」という夢を語るその姿に、私もまた励まされました。



国際奉仕というと、敷居が高いと感じる方もいるかもしれません。安全面、費用面、言葉の壁——私も何度も悩みました。でも、トライしなければ何も始まらないのです。大きな成果を求めすぎず、「自分にできることを続ける」という姿勢こそが、最も大切なのではないかと思います。ロータリーでは「インパクトをもたらす」活動が求められていますが、私にとってのインパクトとは、出会った子どもが大人になって夢を叶える、その過程を見届けることだと考えています。小さな支援でも続けられれば、やがて大きな変化につながると信じています。

最後に、こうした機会をつないでくれたクラブのOB・OGの皆さま、支援を続けてくださるスポンサークラブの皆さま、一緒に現地へ足を運んだ仲間たちに心から感謝を申し上げます。